

Bonjour

ボンジュール, フランス!

L'invitation au français vivant

さあ、つらい受験勉強からようやく解放されて、大学生になったきみ。フランス語を自由に思いっきり勉強できるというのは大学生だけの特権です。フランス語の美しい響きと明晰さにじかに触れて、パリの街の喧噪と華麗さの中から生まれた詩をひもとくのも、セザンヌやゴッホが生きた南仏の夏の木陰に思いを馳せるのも、これからはきみの思うがまま。

それだけではありません。EUが統合・拡大し、新しいヨーロッパ再編を代表する柱としてますます活気づくフランス。経済・政治・技術・文化・芸術・スポーツなどさまざまなレベルで、フランスと日本との対話と交流の意義はより一層大きくなってきています。意外に知られていませんけど、カナダをはじめ、中近東やアフリカ、東欧諸国でも、公用語にフランス語を用いている国は数多く、全世界で約3億人に通用しています。フランス語の扉をたたくことは、現代世界へ向けて発信するためのいわばかけがえのないベースともなるのです!

長い歴史の重みが醸し出した重厚さと
どきっとさせるような華やかな革新性
そして文化の多元=混在性が、不思議
にひとつに同居した言葉—

フランス語。

いまこそ、みんなと一緒に学んでいき
ましょう!

実地で生きた本場のフランス語を!

- 語学研修、短期留学もできる

毎年夏になるとフランスへの短期語学研修旅行に参加する先輩がたくさんいますよ。フランスは、語学教育の長い蓄積を活かし、大勢の外国人が語学研修に参加するシステムが整っており、全国各地に、魅力あるフランス語教育プログラムや優れた教師を提供できる公立・民間の学校が多いのです。

特に新潟大学はフランスの2つの国立大学、ナント大学とリヨン第3大学と学生交換協定を結んでいます。どの学部にも所属していても交換留学生としてフランス留学のチャンスがありますよ!



Apprenons

コミュニケーション重視

— 生きて話せるフランス語へ
未知の外国語を学ぶのは、期待と不安がつきもの。「中学・高校と語学は苦手…」という人も、ここではすっきりと頭を切り替えてくださいね。新潟大学のフランス語の授業は、ネイティブの教師も参加する少人数タイプのクラス。オープンで風通しのよいクラスですから双方向型の「話す」「聴く」といった能力を伸ばすにも理想的でしょう。文法もちろん大事だけど、やっぱりちゃんときれいな発音で話せるようになりたい、そんなきみにもきちんと応えるクラスになっています。



フランス語ってむずかしい？

— 長い伝統がつくりだした明晰さと論理
英語にくらべると、フランス語はいつけん面倒くさそう？ 単語も新しく覚えなければならないし、それに動詞の変化もいろいろあるらしい、とか、おいおい名詞や形容詞に男性や女性があるそうだと、とか。
でも安心してください。語彙には英語と重複するものが多いし（というより、フランス語の方がたいていは本家、英語は分家）、動詞変化や男性・女性の区別などは他のヨーロッパの言語に比べればまだまだ少ないんですよ。



一年でどのくらいフランス語を勉強するの？

初めて学ぶ英語以外の外国語だから、まずは言葉の構造をおおまかにとらえて、文法の基礎をつくるのがひとつ。次に、耳と口を慣らして発音を正確におこない、簡単な日常会話を話せたり、短い文を読めるようになることがもうひとつの目標。

それでも、一年生の6月には仏検（フランス語検定試験）5級、11月にはもう仏検4級を受験して、ちゃんと合格する先輩たちがたくさんいますよ。



なによりも大切なのは、はやくから先人たちが美しいことばの魅力を実感的に追求したことや、長く近代ヨーロッパの政治・外交の中心にあったこと、そしてまたフランス語の教育と普及のために払った多くの努力の実績から、フランス語文法の規範性と洗練性はきわめて高い水準にまで達しているということ。現在でもフランス語が国連、EU、ユネスコでも公用語のひとつとして使用され、国際語としての世界に占める地位が重要なのも、ひとつにはここに理由があるんですよ。おそれずに、おもいきりよくフランス語にチャレンジしてくださいね。

le français ensemble !